

高強度シリカレジン

ガンバンSRC

1 標準的なウレタン系注入材よりも高強度

2液を1.5ショットで混合・注入することにより数分で反応硬化し、数時間でコンクリート並の高強度を発現、耐久性にも優れています。

2 環境への配慮（ガイドライン適合品）

数分で強固に結合、湧水下でも希釈分散することなく反応固結するため、水の白濁や泡立ちを抑制、周辺環境の汚染を予防します。

ガンバンSRCは「山岳トンネル工法におけるウレタン注入の安全性に関するガイドライン」に定められた注入材の選定基準に適合しています。



3 仕様

		A液	B液
一般性状	組成	珪酸ソーダ水溶液 特殊改質剤 触媒	特殊プレポリマー 粘度降下剤 安定剤
	外観	微白濁液体	褐色液体
	粘度 (mPa·s/25℃)	190 ± 50	190 ± 50
	比重(20/4℃)	1.45 ± 0.03	1.17 ± 0.03
配合(重量比)		A : B = 1 : 0.8 ± 0.1	
(容積比)		A : B = 1 : 1 ± 0.1	
ゲルタイム(秒)		120 ± 60 (20℃)	
圧縮強度(MPa)		21 以上 ※1 40 ± 10 ※2	
自由発泡倍率(倍)		1.0 + 0.2 - 0	
危険物区分		非危険物	第4類第4石油類
梱包		20kg/缶	

※1 圧縮強度は2020年に改定された「山岳トンネル工法におけるウレタン系注入の安全管理に関するガイドライン」にしたがい、新たに規定されたJIS K7220:2006「硬質発泡プラスチック-圧縮特性の求め方」によって測定しています。

※2 JIS A 1108:2018「コンクリートの圧縮強度試験方法」によって測定しています。

※本パンフレット記載内容は、実験値に基づくもので、その記載内容を保証するものではありません。※仕様を変更する場合があります。※受注生産のため納期の確認をお願いします。

4 用途

✕ ロックボルトの定着材として

✕ 既設トンネルの補修

断面修復、コンクリート等の
割れ目の充填など

✕ 補助工法の注入材

- ・ 先受け工
- ・ 鏡補強工
- ・ レッグパイル等の脚部補強工

取扱い注意

ガンバンSRCは『山岳トンネル工法におけるウレタン注入の安全管理に関するガイドライン』に適合した注入材で生体系に安全なよう設計されていますが、合成化学品ですので使用時には必ず下記の注意事項を守って作業してください。

- ① B液は危険物第四類第4石油類に該当するため、火気の取扱い、貯蔵保管は消防法に従って取扱ってください。
- ② 薬液を取扱うときは目、皮膚に直接触れないようにゴーグル型保護メガネ、保護手袋、防毒マスク（有機ガスマスク）を必ず着用してください。
- ③ 薬液注入中は坑内に局所換気装置を設け、換気を充分に行なう処置を講じてください。
- ④ 万一皮膚に付着したり、目、鼻、口に入った場合は速やかに大量の流水でよく洗ってください。炎症が出たり、痛みを感じたときには、速やかに医師の診察を受けてください。
- ⑤ B液はポリメリックMDIを主成分としており、皮膚に付着したり蒸気を吸入した場合中毒を起こすおそれがあります。また、アレルギー体質の方には発疹症状を見ることがあり、作業前に保護クリームを塗ることをおすすめします。
- ⑥ 薬液は噴霧状、吹付け、蒸気の状態での使用はさけてください。A液とB液の混合物は発熱反応により約100℃まで昇温し、熱ガスの発生がありますのでガスを吸わないように注意してください。また、薬液注入中は注入圧力および反応による発泡圧力により注入ボルトが飛び出すことがあるので注入ボルト後方で作業しないよう、また、リーク物が飛散することもあるので飛沫がかからぬよう注意してください。
- ⑦ 注入後のボルトをガス溶断することは、燃えたり有害ガスが発生するので絶対に行なわないでください。切断にはパイプカッターやディスクカッターを使用してください。
- ⑧ 液がこぼれた場合は土砂などで囲うか中和剤（水・アンモニア・液体洗剤）を散布して回収してください。
- ⑨ 空缶や残った薬液はみだりに捨てないで、まとめて保管し、適切に処分してください。
- ⑩ 保管は直射日光、雨水を避けてください。

お客様へのご注意とお願い

- ご使用前に必ず「安全データシート」(SDS)を読みください。
- 本パンフレット記載内容は、実験値に基づくもので、その記載内容を保証するものではありません。
- ご使用に際しては使用目的に適合するか、貴社の責任においてご確認下さい。
- ご使用になる前に、使用方法や注意事項等をご確認下さい。
- 記載内容は、断り無く変更する場合がありますので、ご了承下さい。

KATECS

株式会社カテックス 建設資材事業部

本社 〒460-8331 名古屋市中区上前津一丁目3番3号 TEL 052-331-8821 FAX 052-332-0164
ホームページ <https://katecs-kensetsu.jp> メールアドレス construction@katecs.co.jp

中部営業部	TEL 052-331-8821	FAX 052-332-0164	東京支店	TEL 03-3260-8321	FAX 03-3266-1648
仙台事務所	TEL 022-344-6041	FAX 022-344-6042	関西営業所	TEL 06-6578-3235	FAX 06-6578-3237
九州営業所	TEL 092-574-0856	FAX 092-574-0846	北海道地区	TEL 011-821-5868	FAX 011-821-6644

(株)エイチ・アール・オー

20220517改定